

岡歯会報



巻頭言

「新会館」 常務理事 南 哲之介 <p 1>

県歯報告

令和元年度 地区・本会連絡協議会 <p 2>

新会館2階大ホール『もも丸ホール』に決定!! <p 4>

2020 vol.877 2



一般 岡山県歯科医師会
社団法人

目次

巻頭言 「新会館」…………… 一般社団法人 岡山県歯科医師会 常務理事 南 哲之介	1
県歯報告 令和元年度 地区・本会連絡協議会	2
台風15号・19号災害への義援金（御礼）	3
新会館2階大ホール『もも丸ホール』に決定！！	4
新会館建設工事進捗状況 2月	4
令和元年度災害歯科保健医療チーム養成支援事業災害歯科保健医療体制研修会	5
Open the 理事会	6
事務局からのお知らせ	10
マンスリー・デンタル・ニュース・レビュー（186）	11
社会保険部 第5回 社会保険部検討委員会報告	13
公衆衛生部 令和元年度岡山県歯科保健優良校（園）並びに岡山県歯科保健図画ポスターコンクール表彰式	15
学術部 「口腔解剖学ハンズオンセミナー」開催のご案内	16
令和元年度日本歯科医師会生涯研修セミナー	17
岡山救急医療研究会令和元年度総会・第21回学術集会	21
医療管理部 第2回エイズ対策研修会	22
地区歯科医師会だより 岡山市歯科医師会	23
都窪歯科医師会	24
玉島歯科医師会	25
赤磐歯科医師会	26
玉野市歯科医師会	27
吉備歯科医師会	28
リレー随筆 「出不精」 須藤 健太郎（児島歯科医師会）	30
笑顔！！ こんにちは 「最近のマイブーム」 行正 恵子（岡山市歯科医師会）	31
会員のページ 雀部 陽一郎（浅口歯科医師会）	32
お知らせ 日曜・祝日の開館予定日（2月・3月）	33
岡山大学公開講座 摂食・嚥下リハビリテーション従事者研修会 初級コース（第16回）開催のお知らせ	34
訃報	35
会員異動	35
2月の収納金	35
12月 会の動き	36
2月・3月 本会の予定	37
2月・3月 地区歯科医師会の予定	38
こちら編集室	38

<http://www.oda8020.or.jp>

■題 字 故 三浦 晰先生

■表紙作品 「古民家の雪景色」 児島歯科医師会 松三 洋夫 先生

温暖な児島の地の珍しい雪景色です。



「新 会 館」

一般社団法人 岡山県歯科医師会

常務理事 南 哲之介

平成28年、「シン・ゴジラ」という映画が公開され話題を呼んだ。タイトルの命名は監督の庵野氏で、「シン」は「新」であり「真」でもあり、また「神」など複数の意味を重ねて「シン」というカタカナを採用したと言われている。

一昨年10月取り壊しに着手し建設を進めてきた会員待望の「新会館」が、約1年半の工期を経ていよいよ竣工を迎え、2月27日に引渡しの予定となっている。建設にあたっては、ほぼ週2回以上のペースで建設委員会が開催され、各フロアのレイアウト、外装、内装、家具、OA機器、学院仮設校舎の運営等々、細部にいたるまで業者任せにすることなく検討がなされてきた。酒井会長をはじめ委員長として奔走された黒住副会長、学院長として苦勞された藤井副会長、取りまとめの大嶋専務には全幅の敬意を表したい。委員の一人としては50年に一度の大事業に、建設業者選定委員会、新会館建設委員会を通じて携われた事に無上の喜びを感じると共に、会員の皆様に満足いただける様、十分な提案ができたのかとの自責の念に耐えない。

創立百周年記念誌を紐解くと、戦前本会は事務所が中山下、東田町、西田町（現在の田町、幸町）等の借家であったと記されており、昭和22年に旧紀伊国屋書店の場所に売家を購入し、初めて会館を設けたとされる。さらに昭和27年4月、現在の石関の地に木造2階建ての二代目会館を建設したが、昭和44年に消防より建物の一部使用不可を指摘されたのを受け、昭和47年1月、皆が親しんできた鉄筋6階建ての旧会館が落成したと記されている。現在では岡山カルチャーゾーンと称される、好適な周辺環境と交通至便の石関の地を我々の拠点とした先達の慧眼に、改めて敬意を表するとともに感謝を申し上げたい。

「過去を知り、明日を語り、今を行う」

皆の思い出の地、石関に「新会館」が芽吹こうとしている。立派な器は間もなく出来上がる。旧会館は老朽化という時間経過の中で役割を終えることとなったが、組織はいつも若く健全でなければならず、途絶えることなく成長し続けねばならない。今この節目の時に、岡山県歯科医師会110余年の歴史と伝統を振り返り、鬼籍に入られた先達の英知と苦勞に敬意と思いを馳せ、明日の歯科医師会を語り、「真」の会館に育て上げることがこれから我々に課せられた責務では。「新会館」が会員の「心」の会館となることを願ってやまない。

令和元年度 地区・本会連絡協議会

令和元年12月14日(土)、新会館視察後の18時15分より、石関町別館3階において標記協議会が開催されました。

1. 会長挨拶



新会館視察お疲れ様でした。まず、日歯の呼びかけによる台風19号義援金につきましては、約半分弱の地区歯科医師会のご協力をいただき、さらに本会からも拠出して日歯へ送らせていただきました。ありがとうございました。

また、昨年の真備地区の豪雨災害時には、福島県より義援金をいただきました。今回の台風災害では、福島県において会員被害も含め大きな被害が生じたので、本会として義援金を送らせていただきました。丁寧なお礼の言葉をいただきましたことも報告させていただきます。

別館横の角地28坪の購入話があります。前向きに考え、現在売り主と折衝中であります。

最後に新会館建設についてですが、本会と学院の所持金と下伊福の土地売却金で収支は整いそうです。会館建設委員会の先生方の献身的な努力により、バランスのとれたすばらしい新会館が3月には御披露目できると思います。3月の代議員会でご報告し、その後の対応を協議していただく予定です。

2. 報 告

- (1) 来年3月29日(日)予定であった代議員会は、新会館竣工祭挙行的ため3月22日(日・大安)に変更
- (2) 令和2年 新会館 今後の主な予定
 - 2月27日(木) 新会館引渡日
 - 3月2日(月)～4日(水) 事務局(歯科国保・岡山市歯会・衛生士会含む) 引越し
 - 3月7日(土) 岡山高等歯科衛生専門学院 卒業式
 - 3月13日(金)～15日(日) 岡山高等歯科衛生専門学院 引越し
 - 3月22日(日) 竣工祭・第185回臨時代議員会・新会館内覧会(代議員)
 - 3月29日(日) 新会館内覧会(会員)
 - 4月1日(水) 会議室等、貸し出し開始[申込みは3月23日(月)頃から]
- (3) 東日本大震災・熊本地震・西日本豪雨災害 復興義援金として募金 約225万円を山陽新聞社会事業団へ寄託
- (4) 会員名簿改訂版、令和2年カレンダー、台風19号復興支援募金箱等の送付について

新会館2階大ホール 『もも丸ホール』に決定！！

昨年「岡歯会報」12月号で募集いたしました新会館大ホールの“ネーミング”募集に44案ものご応募を頂きました。いろいろなアイデアを前に選択に迷いましたが、厳正な審査の結果、『もも丸ホール』に決定いたしました。

多数のご応募、誠にありがとうございました。ここに感謝申し上げます。



1月に入り新会館もやっとその姿を現すことができました。カーテンウォールの外観は、旧会館とはまた趣を異にして石関のカルチャーゾーンに復活しつつあります。

いよいよ最終段階を迎えることとなりましたが、これからが最も重要な時期に入るといふ思いで気合を入れていきたいと思っています。

令和元年度災害歯科保健医療チーム養成支援事業

災害歯科保健医療体制研修会

令和元年12月14日(土)・15日(日)、日本歯科医師会館にて開催された災害時の歯科医療体制研修会に水川正弘先生と参加しました。

阪神大震災を原点に、今後起こり得る直下型地震、南海トラフ地震、台風・豪雨災害等の大規模災害時に備えた災害歯科保健医療体制のシステム構築に関する研修会です。

1日目は、災害歯科医療概論、内閣府、防衛省、厚労省、警察庁等、関係省庁による災害時対策、被災地の対応、JMAT（日医組織）についての講義。

特に災害時の歯科保健については日頃より、関係機関とのコミュニケーションを取っておく事、災害時は現地対策本部との連携、後方支援である日本歯科医師会との調整、被災情報の集約・共有・発信・引き継ぎが重要との事でした。

また災害関連死にはストレスによる免疫低下や環境因子（偏った食品、口腔衛生不良等）からくる誤嚥性肺炎が特に多い為、初動時から災害対策本部に対して歯科の重要性を説いて行くことが必要であるとの話がありました。

2日目は災害時歯科保健コーディネート（調整、取りまとめ）の実践的演習を2題。

*被災市町村におけるコーディネート（初動時の被災状況確認、避難所等のアセスメント）

アセスメントとは被災地の状況評価の事で、初期段階での現状把握と時系列で変化する被災地、避難所の状況確認、現場の報告、情報の共有が大切との事でした。

演習では発災時のアセスメント（評価）表を作成し、被災地の状況に応じたチーム編成、移動ルート、情報収集等、歯科口腔保健を現地でコーディネートする為、実災害を想定した被災現場での演習を行いました。

*都道府県におけるコーディネート

統括的な災害対策本部設置・運営での歯科コーディネートについて。

市町村で収集されたアセスメント（被災状況評価）表に基づいた県レベルでの災害歯科保健の方針決定、関連団体との連携、情報の共有の重要性についての説明がありました。

演習では歯科保健計画策定、受援時の初動対応、外部からの支援物資・人的支援の現地配分、被災地の歯科診療所との連携、撤退と引き継ぎ等、中間管理職的な演習を行いました。

2日間の実践的な研修会で災害時の歯科保健医療を行うに当たっての重要事項も多く、今後は行政との連携を視野に入れながら有事に備えて行かなければならないと感じました。

（理事 北山 仁）

Open the 理事會

羅針盤

会 長 酒 井 昭 則



大半の国民は「桜を見る会」の招待者名簿は現存していると思っているであろう。シュレッダーで廃棄したのは障害者職員と答弁した。何故、ワザワザ障害者職員と答えたのか。答弁の背景に何があるのか知る由もないが、強い違和感を覚える。

森友、加計学園、総理は「李下に冠を正さず」のことわざを引用し、何度も繰り返し反省の弁を述べてきた。国民の思いは、瞬時に散る桜の花びらのようなものなのだろうか。

令和元年度 第22回
令和元年12月5日(木)
18:30~20:23

1. 会長挨拶

昨日の「国民医療を守るための総決起大会」への出席、ありがとうございました。診療報酬改定を見据えて、2年ごとに医師会主導で行われてきていますが、形骸化してきているような印象も拭えません。今回、国会会期中での開催となってしまう、もう少し配慮が必要ではなかったかという思いもあります。しかし、社会へ向けてのこういうメッセージ発信を続けていく必要性は感じています。

2. 報 告

各部委員会	2件
本会関連の研修会・会議等	10件
連 盟	2件
学 院	2件
事務局	1件
その他	7件

3. 行事予定

本会行事	58件
連盟行事	13件
学 院	13件
国保組合	3件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 岡山県歯科衛生士会より新年会の開催と臨席依頼について

黒木理事、角谷理事出席

日 時 令和2年1月18日(土) 18:30

場 所 リーセントカルチャーホテル

- (2) 日本禁煙科学会より第267回全国禁煙アドバイザー育成講習会開催に伴う後援依頼について

承認

日 時 令和2年1月26日(日) 12:30

場 所 岡山市立市民病院

地区歯科医師会および県歯より計140万円を

日歯に振込

〔検討事項〕

5. 閉 会 (石戸理事)

台風15号・19号災害への義援金について

今日の視点 (東原慶和)

広報部では、任期中にGoogleのGSuiteを利用したGメールによる会員への配信を確立すべく、杉山先生を中心に奮闘中です。特に訃報や急を要する連絡、会員へのアンケート等は、ほぼ無料で行えます。但し、先生方のスマートフォンやiPhoneの利用、Googleアカウントの作成とGmailアドレスの取得が、大前提となります。大きな経費削減になりますので、社保や医療管理の講習会開催時に少し時間を頂き、少しずつでも登録者を増やしていければと考えています。

令和元年度 第23回
令和元年12月12日(木)
18:30~19:15

1. 会長挨拶

歯科衛生士求人において、ある歯科医院の不適切な事例が報告されました。日本社会の働き手不足は深刻で、歯科業界においても長年にわたってスタッフ不足は問題になっています。しかし、なりふりかまわない行動は歯科界の品位を下げることになりかねません。節度を持った対応をお願いしたいと思います。

2. 報 告

各部委員会 3件
本会関連の研修会・会議等 9件
連 盟 3件
学 院 1件
事務局 2件
その他 3件

3. 行事予定

本会行事 52件
連盟行事 11件
学 院 11件

国保組合 2件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 岡山県学校保健会より令和元年度岡山県学校保健研修会の開催と出席依頼について

黒住副会長 出席

日 時 令和2年1月30日(木) 14:00

場 所 岡山市民会館

- (2) 岡山県保健福祉部障害福祉課長より「令和元年度第2回岡山県自立支援協議会医療的ケア児等支援部会の開催とオブザーバーとしての出席依頼について

角谷理事 出席

日 時 令和2年2月10日(月) 13:00

場 所 ピュアリティまきび

- (3) 長野県歯科医師会より「令和元年度 第30回中規模県歯科医師会連合会」の開催と出席者及び協議題の提出依頼について

酒井会長、大嶋専務理事 出席

日 時 令和2年2月27日(木) 16:00

場 所 アルカディア市ヶ谷

5. 閉 会 (中村理事)

今日の視点 (西田宜可)

今年の理事会開催も、今日を含めて残すところ3回となりました。振り返って見ると、新会館・新会館建設しか頭に思い浮かばない年であった様な感じがしております。藤井・黒住両副会長、大嶋専務の対応に頭が下がる思いは、会館建設が進捗するにつれて深まっております。これから、外装から内装工事に移ります。4か月後の完成を楽しみにしておりますが、建設の裏では想像を絶する尽力がある事を心に留めておかなければならないと、改めて感じている所であります。

**令和元年度 第24回
令和元年12月19日(木)
18:30~19:51**

1. 会長挨拶

今日と明日にかけて、厚労省の共同指導が行われています。“1,100会員を物心両面で守る”という信念の下、社保担当を含め全力で取り組んでいます。また、厚労省指導監査室長との面談も行う予定です。ぶれることなく、信念を貫きたいと思えます。

2. 報 告

- 各部委員会 2件
- 本会関連の研修会・会議等 13件
- 連 盟 2件
- 学 院 3件
- 国保組合 1件
- 事務局 1件
- その他 8件

3. 行事予定

- 本会行事 45件
- 連盟行事 11件
- 学 院 8件
- 国保組合 1件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

- (1) 岡山県国民健康保険団体連合会より理事会の

開催と出席依頼について

藤井副会長 出席

日 時 令和2年2月12日(水) 14:00

場 所 岡山県国保会館

- (2) 岡山地方裁判所長より第18回岡山医療訴訟連絡協議会の開催と出席依頼について

藤井副会長 出席

日 時 令和2年2月18日(火) 16:30

場 所 岡山地方裁判所

- (3) 岡山県医師会より令和元年度第2回岡山地域医療構想・包括ケアシステム研究会の開催と参加依頼について

黒住副会長 出席

日 時 令和2年2月23日(日) 13:00

会 場 ホテルメルパルク岡山

〔検討事項〕

- (1) 岡山県医師会より「第4回JMATおかやま研修会」開催案内について

日 時 令和2年2月23日(日) 9:30

場 所 川崎リハビリテーション学院

- (2) 日本歯科医師会より第129回都道府県会長会議の開催予告について

日 時 令和2年2月28日(金) 14:00

場 所 歯科医師会館

- (3) 岡山プライマリ・ケア学会より第27回学術大会研究発表演題の募集について

- (4) 岡山大学より「岡山県委託事業死生学とアド

バンスケアプランニングを取り入れた要介護
高齢者の尊厳を最後まで守る多職種連携口腔
栄養関連サービスの推進事業公開セミナー」
開催に伴う後援名義使用の許可願について
承認

日 時 令和2年1月12日(日)・26日(日)
いずれも9:30
場 所 岡山大学歯学部棟 新見文化交流館
責任者 窪木 拓男 教授

5. 閉 会 (北山理事)

今日の視点 (黒住正三)

今年も残すところあと数日だが、県歯この1年を振り返って見ると「今年もいろいろあったなあ」と思
い出すことが多い。その中でも今年のベストワンはなんといっても会館建設だろう。この年末年始には会
員に最新の情報を逸早くお知らせ出来るよう、地区歯科医師会の忘年会や新年会で進捗状況の説明が出来
ればと計画している。

令和元年度 第25回
令和元年12月26日(木)
18:30~19:37

1. 会長挨拶

一年間ありがとうございました。新会館建設と
いう一大プロジェクトも順調に進行し、来年2月
には完成ということで、先生方のご尽力の賜物と
して大変楽しみにしています。

以前から感じていたのですが、ひとつの制度や
ルールを設けるにあたっては、立場によって利害
が絡むこともあり、捉え方に差異が生じることが
よくあります。その根底に説得力のある理念がな
ければ、制度やルールとして成り立たないと私は
考えます。そのような事例に対しては、おれること
なく、信念を貫く所存です。

来年もよろしく願いいたします。

2. 報 告

各部委員会 4件
本会関連の研修会・会議等 12件
連 盟 1件
学 院 3件

事務局 1件
その他 3件

3. 行事予定

本会行事 38件
連盟行事 10件
学 院 6件
国保組合 1件

4. 協 議

〔各種依頼事項〕

(1) 「令和元年度広島県歯科医師会第2回学術講
演会」の開催と周知依頼について

日 時 令和2年1月19日(日) 9:30
場 所 広島県歯科医師会館

(2) 岡山県スポーツ協会新年懇談会の開催と出席
依頼について

日 時 令和2年1月20日(月) 18:00
場 所 メルパルク岡山

(3) 令和元年度第2回岡山県後期高齢者医療広域
連合運営審議会の開催と出席依頼について

角谷理事 出席
日 時 令和2年1月28日(火) 13:30
場 所 岡山県市町村振興センター

- (4) 「第38回北方領土返還要求岡山県民大会」の開催と参加者派遣依頼について

事務局対応

日 時 令和2年2月4日(火) 13:30
場 所 さん太ホール

- (5) 岡山県教育庁保健体育課長より令和元年度学校保健推進協議会委員の推薦依頼について

黒木理事 留任

- (6) 岡山県看護協会より令和2年度「看護の日・看護週間」行事の実施における後援名義使用承諾依頼について

承認

期 日 令和2年5月12日(火) 看護の日
5月10日(日)～16日(土) 看護週間
行 事 看護大会
5月15日(金) 13:00
おかやま未来ホール

- (7) 岡山県国民健康保険団体連合会より「第61回

全国国保地域医療学会」開催に伴う後援依頼について

承認

期 日 令和3年10月8日(金)・9日(土)
場 所 岡山コンベンションセンター

- (8) 面会依頼

岡山市歯科医師会, ジャパン保険岡山

〔検討事項〕

- (1) 岡山県地域包括ケアシステム学会より「第4回地域包括ケアシステム学会研修会」の開催と参加案内について

HP等で対応検討

日 時 令和2年1月29日(水) 18:30
場 所 川崎リハビリテーション学院(倉敷), 渡辺病院(新見), 金田病院(真庭)

- (2) 指導について

5. 閉 会 (角谷理事)

今日の視点 (藤井龍平)

12月20日過ぎに新会館の建物周囲の足場や防音壁も取れ、その全体像(外観)が雄姿を現した。本日(12月26日)午後3時より、本会事務局、学院、岡山市歯科医師会事務局、歯科医師国保事務局、岡山県歯科技工士会の関係各位出席のもと、蜂谷工業スタッフの皆さんによる説明を受けながら館内を見学した。ヘルメット、軍手、スリッパの準備もされていて安全第一での挙行であった。

事務局からのお知らせ

2月27日(木) 午後 新会館受け渡し説明会

3月2日(月)～4日(水) 新会館への引っ越し

上記期間中、通信等が不通になり、又、用紙販売等も対応できません。

大変ご迷惑をお掛けいたしますが、ご留意下さいますようお願い致します。

尚、移転作業の状況によっては、上記期間が長引く可能性がありますこともご承知下さいますようお願い致します。

Monthly Dental News Review (186)

令和元年

12月16日(月) ▶金パラの問題など訴える 保団連マスコミ懇

全国保険医団体連合会(住江憲勇会長)は5日、都内でマスコミ懇談会を開き、医療経済実態調査への見解や、歯科用貴金属の価格高騰問題などについて解説し、医療の置かれている状況への理解を求めた。

〈略〉

歯科の材料費については、1.5%プラスになっており、金パラの高騰が背景にあり、経営を圧迫していると言及。「歯科に光が当たっている割には診療報酬上の評価がない」と大幅なプラス改定に期待を示した。

〈略〉

さらに金パラについて、昔1万円代(30%)だったものが今は6万円くらいになっている。冠をつくると3%ほど使うので、1箱買った瞬間1万5千円の赤字」と医科と比べて補正幅が少なすぎるのではないかと、現状を訴えた。

17日(火) ▶診療報酬改定 歯科はプラス0.59%

加藤厚労相と麻生財務相が合意

令和2年度 診療報酬改定

本体	+0.47%
医科	+0.53%
歯科	+0.59%
調剤	+0.16%
薬価	-0.98%
材料価格	-0.02%
働き方改革への 特例的な対応	+0.08%

令和2年度診療報酬改定について、「診療報酬本体分」0.47%と「働き方改革推進分」0.08%の計0.55%を引き上げること、加藤厚労相と麻生太郎財務相が17日に合意した。薬価はマイナス0.98%(うち実勢価格等改定マイナス0.43%)、材料価格はマイナス0.02%(実勢価格改定マイナス0.01%)、全体ではマイナス0.45%。医科と歯科、調剤の改定率はプラス0.53%、プラス0.59%、プラス0.16%となった。

19日(木) ▶次期改定率で日歯の堀会長「十分とは言えない結果」

令和2年度診療報酬改定率について、日本歯科医師会の堀憲郎会長は、「前改定を下回り、国民の健康寿命の延伸に向けて議論を重ねてきた取り組みを推進するには十分とは言えない結果を受け止めている」との考えを示した。18日に東京都千代田区の歯科医師会館で開いた臨時記者会見で述べたもの。

堀会長はさらに、「薬価引き下げ財源が一部しか診療報酬本体の財源に充てられず、過去3回の改定に引き続き、合わせてマイナス改定となった。求められている質の高い歯科医療を円滑に提供する視点からは大きな問題で、歯科医療機関の健全な経営を確保するためにも薬価引き下げ財源は診療報酬本体に全額充てることを引き続き訴えていきたいと考えている」と主張。

23日(月) ▶台風15号・19号で
3457万円の義援金を送金

台風15号・19号の被害を鑑みて、日本歯科医師会が募集していた義援金が12月18日時点で3457万円余集まり、20日付で被害のあった1都17県の歯科医師会に送金されることが分かった。19日の日歯定例記者会見で瀬古古精良専務理事が報告した。

26日(木) ▶ 歯科医師4人を処分

医道審 医道分科会が答申

厚労省は18日、医師12人、歯科医師4人の行政処分を発表した。同日に開かれた医道審議会医道分科会の答申を踏まえたもので、歯科医師の処分内容は、大麻取締法違反が2人で、それぞれ歯科医業停止1年6カ月、同1年、児童買春で同3カ月、盗撮による条例違反で同3カ月となっている。効力の発効は2020年1月7日。

▶ 災害時歯科体制整備事業に4億7千万円

山田議員「使い道は各県で検討を」

強い台風や豪雨、そして頻発する地震などによる大規模災害時に、被災地の避難所での支援体制を強化する「災害用ポータブル歯科ユニット等配備のための予算」4億7千万円が、20日に閣議決定した。

〈略〉

器材の購入については、「日本歯科医師会と厚労省の歯科保健課が相談し、決定。国が購入品を指定することはしない」とし、「急遽決まった予算なので、具体的な使い道等の内容について都道府県で検討していくことになる」と説明した。

令和2年

1月8日(水) ▶ 12歳児むし歯等数0.70本

令和元年度学校保健統計調査速報値で

12歳児1人当たりの永久歯の平均むし歯等数が0.70本となった。令和元年度学校保健統計調査の速報値によるもので、前年より0.04本減った。昭和59年度の調査開始以降、ほぼ毎年減少し、過去最低となっている。

12歳児のむし歯等数は、平成元年の4.30本から10年3.10本、20年1.54本と減少し、27年に0.90本と1本を切った。

令和元年度の0.70本の内訳は、処置歯0.45本、未処置歯数0.24本、喪失歯0.01本。

12歳の永久歯の一人当たり平均むし歯(う歯)等数 (単位:本)

	平成1年度	平成11	21	27	28	29	30	令和1
計	4.30	2.92	1.40	0.90	0.84	0.82	0.74	0.70
喪失歯数	0.04	0.04	0.03	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01
むし歯(う歯)	計	4.26	2.88	1.37	0.89	0.83	0.73	0.69
	処置歯数	3.05	2.09	0.87	0.55	0.51	0.52	0.45
	未処置歯数	1.21	0.79	0.49	0.34	0.31	0.30	0.24

第5回 社会保険部検討委員会報告

令和元年12月21日(土) 16:00～19:00

1. 報告

- (1) 11月 新入会員 なし
- (2) 新入会員社保研修会 11月9日(土) 19:00 別館会議室 対象8名 出席7名 欠席1名
- (3) 支払基金幹事会 11月11日(月) 14:00
- ・2019年8月診療分

前年同月対比	支払額	103.8%	件数	104.0%
前月対比	支払額	92.1%	件数	96.2%
 - ・本人 レセプト1件当たりの平均点数

2019年7月診療	岡山県	1,317.2点	全国平均	1,260.5点
2018年7月診療	岡山県	1,284.0点	全国平均	1,264.5点
前年同月対比	岡山県	102.6%	全国平均	99.7%
 - ・家族 レセプト1件当たりの平均点数

2019年7月診療	岡山県	1,105.6点	全国平均	1,086.3点
2018年7月診療	岡山県	1,096.2点	全国平均	1,084.0点
前年同月対比	岡山県	100.9%	全国平均	100.2%
- (4) 個別指導 11月14日(木) 14:00 薬業会館 1医療機関(会員)
- (5) 中国地方社会保険医療協議会 岡山部会
11月25日(月) 13:30 田頭 理事 新規指定医療機関 1医療機関
- (6) オンライン資格確認システム説明会(中国ブロック)
12月2日(月) 10:00 広島合同庁舎 田頭 理事, 石戸 理事
- (7) 社保講習会
大阪歯科大学岡山県同窓会 12月7日(土) 15:00 ホテルグランヴィア岡山 大塚 検討委員
- (8) 共同指導 12月19日(木) 9:00, 20日(金) 9:00 おかやま西川原プラザ
4医療機関(会員3医療機関, 非会員1医療機関)
- (9) 国保審査委員会報告(レセプト1件当たりの平均点数)
- | | | | | |
|-----------|----|----------|-------|----------|
| 2019年7月診療 | 国保 | 1,356.2点 | 後期高齢者 | 1,527.9点 |
| 2018年7月診療 | 国保 | 1,320.8点 | 後期高齢者 | 1,503.6点 |
| 前年同月対比 | 国保 | 102.7% | 後期高齢者 | 101.6% |

- (10) 社保相談窓口報告
- (11) そ の 他

2. 行事予定

- (1) 審査・検討小委員会 1月11日(土) 15:00 別館会議室
2月1日(土) 15:00 別館会議室
3月7日(土) 15:00 別館会議室
- (2) 第6回 検討委員会 1月11日(土) 16:00 別館会議室
第7回 検討委員会 2月1日(土) 16:00 別館会議室
第8回 検討委員会 3月7日(土) 16:00 別館会議室
- (3) 新入会員社保研修会 2月1日(土) 19:00 別館会議室 対象9名
- (4) 2020年2月保険医療関係機関連絡会議 2月6日(木) 14:30 別館会議室
- (5) 都道府県歯科医師会社会保険担当理事連絡協議会 3月10日(火) 日歯 13:00～17:00

3. 協 議

- (1) 「検討委員会からのお知らせ」について
- (2) 「そこが知りたいQ&A」について
- (3) 新入会員社保研修会について
- (4) そ の 他

～検討委員の独り言～

検討委員も今季で5期目に入りました。任期を全うすれば10年目も見えてこようかというキャリアになってしまいました。就任直後は知らない事ばかりで、情報をとにかく吸収するだけで手一杯でした。しかしこの仕事で重要なのは、情報を管理する事です。情報を仕入れるだけでなく、不要な情報はどんどん捨てて常に最新の情報に更新し続けなければなりません。

改定の度に多くの情報が入りし、審査基準の変更の度に細かい情報の出入りが頻繁にあります。中には出たり入ったりを繰り返す情報もあります。

検討委員としての年数を重ねていくにつれ、情報の出入りに加え、脳の劣化も相まって能力の限界を感じ始めている今日この頃です。

検討委員 大塚 壮一郎 (井原歯科医師会)

令和元年度岡山県歯科保健優良校（園）並びに岡山県歯科保健図画ポスターコンクール表彰式



令和元年12月14日(土)、“ピュアリティまきび”にて令和元年度岡山県歯科保健優良校（園）並びに岡山県歯科保健図画ポスターコンクール表彰式が行われました。

酒井県歯会長の「口の中の健康の大切さは社会の中に少しずつ浸透しながら定着していると感じている。本日お集まりの方々は、これを契機にそれぞれの立場や手法で口の中の健康の大切さの啓発について一層のご理解ご協力をお願いしたい」との挨拶に続き、岡山県教育庁保健体育課 山本課長より「岡山県での12歳児のむし歯は0.71本と全国平均を下回っている。これは皆さんの努力の賜物であり、今後も歯科保健活動を推進していただきたい」との祝辞が述べられました。

ポスターコンクールでは、小学1年生から中学生まで8作品が特選に選出され、審査に当られた倉敷市立短期大学保育学科金山教授より各作品ごとに講評が行われました。絵に動きや勢いがあるか、心がこもっているかなどのポイントを示され、背景が単色ではなく様々な色を使用しているのが良いとか、歯磨きをしている気持ちが伝わってくるといった評価を、受賞した児童や生徒たちにも分かり易い言葉で話されました。

歯科保健優良校（園）調査票審査では、柴田審査委員長より歯科健康診断結果や歯科保健活動の取り組み状況などについての内容だけでなく、活動が継続しているかどうか重要なポイントであるとの説明があり、健診データを分析して問題点を発見し今後の活動に生かしてほしいと結ばれました。

今回表彰された方々にはお祝いと共に、今後の更なる歯科保健活動をお願い申し上げます。

受賞者、受賞校（園）は以下の通りです。

(副委員長 山本忠浩)

令和元年度 岡山県歯科保健優良校（園）表彰 表彰校一覧

岡山県歯科保健優良校教育長表彰	吉備中央町立御北小学校	
岡山県特選歯科保健優良校（園）表彰	赤磐市立山陽西小学校	瀬戸内市立国府小学校
	赤磐市立磐梨小学校	岡山県立倉敷天城中学校
	和気町立本荘にここ園	
岡山県特別歯科保健優良校表彰	吉備中央町立御北小学校	倉敷市立南中学校
	岡山市立上道中学校	
岡山県歯科保健優良校表彰	瀬戸内市立邑久小学校	岡山県立倉敷天城高等学校
	岡山県立岡山西支援学校	岡山県立誕生寺支援学校

令和元年度 岡山県歯科保健図画ポスターコンクール 特選名簿

岡山市立操明小学校	第1学年	星 島 琴 羽
倉敷市立天城小学校	第2学年	恩 田 千 理 子
新見市立矢神小学校	第3学年	安 田 結 泉
新見市立矢神小学校	第4学年	野 田 悠 真
岡山県立岡山聾学校小学部	第4学年	中 本 瑛 南
新見市立塩城小学校	第5学年	清 水 璃 音
倉敷市立大高小学校	第6学年	遠 藤 文 羽
岡山市立岡北中学校	第2学年	島 田 愛 子

学 術 部

「口腔解剖学ハンズオンセミナー」開催のご案内

平素より学術部活動につきまして、ご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、2019年4月13日に開催されました岡山県歯科医師会生涯研修セミナーでも講師をしていただきました岡山大学口腔機能解剖学分野教授 沢 禎彦先生の実習セミナーを下記の日程で開催することとなりました。

参加ご希望の先生は会報2月号同封の申込み用紙にて 2月21日(金)までにFAXにてお申し込みください。

記

日 時：令和2年3月1日(日) 10:00～15:30(集合は9:40)

講義10:00～12:00 実習13:00～15:30 ※昼食は各自が用意

場 所：岡山大学病院 医歯薬融合型教育研究棟内 解剖実習室

研修内容：口腔小手術に求められる口腔解剖講義及び実習

参 加 費：10,000円 (ともしび会費 3,000円込み)

募集人数：10名 (正会員のみ)

※参加者へは改めてご案内をさせていただきます。

令和元年度日本歯科医師会生涯研修セミナー



令和元年12月15日(日)、広島県歯科医師会館で「歯科医療の原点と将来を見据えて～カリオロジーの新たなステージへ～」と題して、日本歯科医師会生涯研修セミナーが開催されました。香川・高知・山口・鳥取・島根・鹿児島県の7会場でサテライト開催でした。広島会場では94名、岡山県から歯科衛生士を含め20名が参加しました。

第一講演

「診療ガイドラインに沿ったう蝕治療～カリエス・マネジメントに基づく臨床戦略～」

講 師：大阪大学大学院歯学研究科口腔分子感染制御学講座教授 林 美加子 先生

人生100年時代になり、8020達成率は50%を超えました。このような時代のう蝕治療のガイドラインについて解説されました。

1. う蝕治療のガイドラインを作製するうえでの問題点

- 1) う窩を形成していないエナメル質初期う蝕に対する非切削での対応方法？
- 2) 初発う蝕に対する診査・診断と切削介入の決定方法？
- 3) 中等度の深さの象牙質う蝕の除去範囲は？
- 4) 深在性う蝕における歯髄保護方法？
- 5) 露髄の可能性の高い深在性う蝕への対応法？
- 6) 臼歯におけるコンポジットレジン修復の有用性？
- 7) 補修修復の有用性？
- 8) 根面う蝕への対応方法

2. う窩を形成していないエナメル質初期う蝕に対する非切削での対応方法？

世界的には、エナメル質初期脱灰病変をより詳しく分類したICDAS (International Caries Detection Assessment System) という分類がポピュラーになってきた。

コード0	健全
コード1	エナメル質における目視可能な初期変化の著明な変化 (エアードライ5秒後に限って観察される)
コード2	エナメル質の著明な変化
コード3	限局性のエナメル質崩壊 (象牙質への進行を示す臨床的な肉眼的兆候なし)
コード4	象牙質への影響がある
コード5	著明なう窩。象牙質は目視可能
コード6	拡大した著明なう窩。象牙質は目視可能

う窩を形成していないエナメル質初期う蝕に対する非切削での対応として、疑わしきほう蝕としない。フッ素の利用で再石灰を図る。(2%フッ素溶液, 20%以上フッ素を含有するF-バナッシュやダイヤモンドでのプロケア)

う窩のない白斑，褐色斑，着色裂溝は切削対象としない（ただし，審美障害は別）
つまり，コード3，場合によってはコード4まで，歯質を切削しない。

3. 初発う蝕に対する診査・診断と切削介入の決定方法？

鋭利な探針の使用にあたっては過度な接触圧にならないように留意する。象牙質に至る明らかなう窩を切削対象とする。不顕性う蝕が疑われる場合はエックス線写真，透過光，電気抵抗，レーザー蛍光などによる複数の検査法の結果に基づいて判断する。

修復処置の基準（以下の条件が複数認められる場合）

- ・清掃乾燥した状態で肉眼あるいは拡大鏡でう窩を認める
- ・食片圧入や冷水痛の自覚症状がある
- ・X線写真で象牙質層の1/3を超える病変がある
- ・審美障害がある
- ・カリエスリスクが高い

4. 中等度の深さの象牙質う蝕の除去範囲

鋭利なスプーンエキスカベータは，細菌の侵入した象牙質を切削できるので，削れる範囲の象牙質を除去する。

5. 深在性う蝕における歯髄保護方法？

歯髄保存の意義としては歯髄感覚の保持，外来刺激の遮断，歯根の形成や根尖孔の完成，免疫機能の発現，修復処置の軽減，歯髄は最良の根管充填剤，歯の破折の防止が挙げられる。材料としては水酸化カルシウムよりMTAのほうが成績が良い。

6. 露髄の可能性の高い深在性う蝕への対応法？

暫間的間接覆髄，直接覆髄，断髄があるが，暫間的間接覆髄が最も良い結果が出ているので，無麻酔でよく切れるスプーンエキスカベータで，う蝕を切削し，次亜塩素酸と過酸化水素水のケミカルサージェリーの後，生理食塩水で洗浄，水酸化カルシウム製剤を貼薬し，再石化してから再治療，歯髄を保存する。

7. 臼歯におけるコンポジットレジン修復の有用性？

深在性のう蝕であっても，露髄しなければ，セメントによる裏層は不要であり，エナメル質のみを選択的にエッチングして，ボンディング材で含浸層を作ってレジン充填すればよい。

8. 根面う蝕のマネジメント

根面う蝕の罹患率は80歳以上では70%である。活動性根面う蝕のマネジメントとしてはフッ化物配合歯磨剤（1100～1400 ppm F）と0.05% NaF 配合洗口薬を日常的に併用使用し，根面う蝕を非活動性にすることが効果的である。さらに効果があるものとして，高濃度フッ化物配合歯磨剤（5000 ppm F）があるが，残念ながら日本ではまだ認められていない。また，現在，海外ではサホライド（55000 ppm F）が注目され，高齢者に対する根面う蝕の予防にも効果があると考えられている。

9. まとめ

現在，初期う蝕の診断は，より細分化され，安易な切削や抜髄を可及的に避けるMID（Minimal Intervention Dentistry）へと変化している。

サテライト開催された他会場からも多くの質問があり，即時に回答が得られ，他県とのネットワーク配信を今後うまく活用することができれば，とても有用なシステムであると思われます。

（第一講演 副委員長 居樹秀明）

第二講演

「行動科学に基づいたブラッシング器具の選択と使い方」

高柳 篤史 先生 (埼玉県開業)

まず「大きいブラシは良くないと思っている我々の常識は本当に正しいですか？」との問題提起をされた。そしてブラシヘッドが2センチ程度と小型の歯科医院専売のブラシと少々大きめの一般市販ブラシを比較し、まず下の様な分類をされた。

刷掃効率	:	歯科医院専売	<	一般市販
細部到達性	:	歯科医院専売	>	一般市販

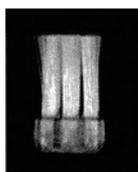
この点をふまえ統計データ上

- ①平均的ブラッシング時間が1分36秒程度と短時間である。
- ②バス法でブラッシング指導を行っても、定着し実行している人が稀である。
- ③ペングリップよりパームグリップの人が多い。
- ④フォーンズ法に近い横磨きをしている人が多い。

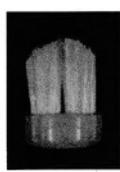
などからブラシヘッドの小さな歯科医院専売ブラシは時間を掛けてブラシをする習慣がありテクニックのある患者には有効だが、そうでない患者には大きめの一般市販ブラシの方が効率的だと解説された。そしてヘッドが大ききなブラシでも下顎を側方運動させ、閉口状態にすれば十分上顎大臼歯遠心にも入れることができるし、大きなブラシはストロークが安定するためブラシ圧が強くなり歯肉を傷つけてしまうような患者にも有効であるとされた。

また続けて市販されている様々なブラシに関し以下のような解説をされた。

- ①毛先の形、毛束（タフト）の形で清掃効率、到達性が変わる。
- ②グリップが細いブラシは毛先の細やかなコントロールが容易だが、患者に力をかけて磨いてほしい場合や、力のない人には太いものの方が効率的。
- ③極細毛のブラシは時間を掛けて磨く人や矯正装置を付けている場合には効果的。インプラント周囲にも時間をかければ効果があるが、時間を掛けない人にはかえって逆効果。
- ④ギザギザに段差植毛してあるブラシはストロークが大きい人には清掃効果が出やすく、フラット形態のブラシはスポットで毛先を当てられるのでテクニックのある患者に向く。
- ⑤歯質へのダメージは、ブラシ圧>ブラシの硬さ>高研磨性歯磨剤の順となるため患者をみてブラシを勧める。
- ⑥歯ブラシを軸方向から見た場合面取りされているブラシは歯肉にあたって痛くないのでそういった訴えのある場合は使用。
- ⑦細い毛、太い毛の複合植毛のブラシはフッ素を歯間部に効率的に届けたいときに効果がある。



面取りなし



面取りあり

この後、フッ素の応用に関して話題を変え解説をされた。

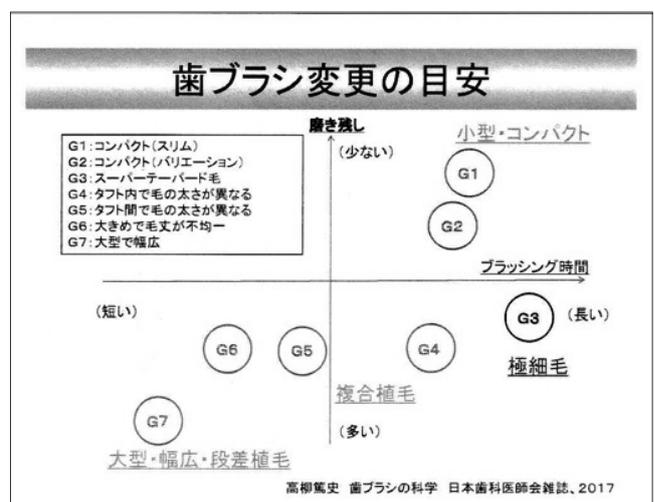
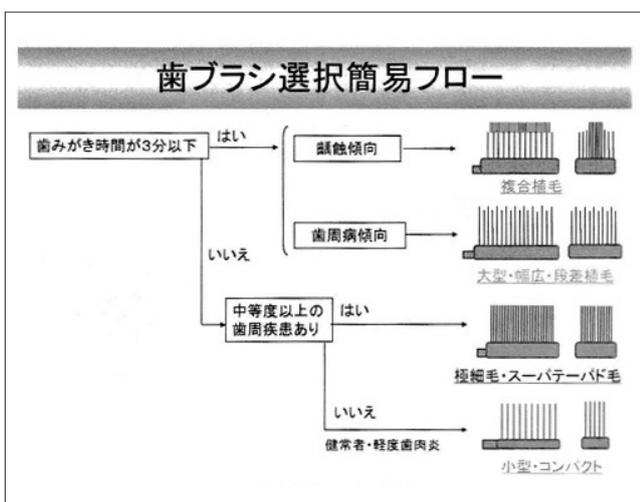
まず、う蝕予防の効果が確認されているのはフッ素配合歯磨剤の使用でこれに関してはエビデンスがある。しかしプラークコントロールの良し悪しによる予防効果に関してはエビデンスに乏しくこの点歯周病予防とは異なるとされた。そしてフッ素のう蝕予防効果とはフルオロアパタイトを形成することよりも歯牙の表面にフッ化カルシウムの薄い膜を形成すること、そしてその膜が酸へ抵抗を示すためだそうです。

このフッ化カルシウム膜を形成するためには歯磨き時歯牙表面に300ppm以上のフッ素濃度が必要で、その為には1000ppmフッ化物配合歯磨剤であれば1g以上の歯磨剤をつけ、2分以上作用させる必要があるとされた。そして小児など含嗽の出来ない年齢等を考慮し以下のような使用量の目安を解説されました。

歯磨剤中のフッ化物濃度 1000~1500ppm (高齢者は1500ppm)	
1日2回以上使用として	
歯磨剤の量	
6ヶ月~2歳	エンドウ豆の半分 (0.05g~0.1g)
2~6歳	エンドウ豆大 (0.25g)
6歳以上	歯ブラシの長さ (歯科医院専売) (1~1.5g)

最後にもう一度歯ブラシの話に戻り、すべての種類の歯ブラシを医院に揃えることは難しいので下のチャートを参考に揃えられることを推奨されていました。また自院では患者に興味を持ってもらえるような各種歯ブラシ、歯磨剤のディスプレイをされ、患者の方から話しかけてくれる様な工夫をされているようだ。

本講演で今まで我々が常識と考えているブラシ形態には明確な理論付けがないことを知りました。そして術者からの一方通行になりがちなブラッシング指導ですが、刷掃率100%を目指すのか、60%を目指すのか患者目線で見ることや、患者を生活者として捉え、患者とともにブラシを選択していくことが大切との言葉が印象的でした。



(第二講演 副委員長 森田巨樹)

岡山救急医療研究会令和元年度総会・第21回学術集会



令和元年11月30日(土)に岡山大学病院に於いて岡山救急医療研究会の総会および学術集会が行われました。

岡山県内の救急に携わる医師，看護師，救急隊員に加え，薬剤師，放射線技師など多職種にわたる会員らが活発に情報提供や意見交換を行い，オブザーバーとして県担当者も出席します。これから救急医療がどのように変化していき，行政をはじめ医療関係者はどのように対応していくのかを皆で考える研究会です。ちなみに令和元年度の正会員数は98名（医師58名，看護師22名，救急隊員12名，その他6名）です。

第21回学術集会のテーマは「救急医療におけるACP（人生会議：Advanced Care Planning）を考える」です。救急医療には3つのS（Speed, Sympathy, Science）が求められますが，近年Speedばかりが強調され，増加し続ける救急搬送に加え，医療機関の救急車の収容件数や応需率の過当競争となっています。そこで，今回はSympathy（思いやり，共感）を取り上げ，救急搬送され人生の最終段階を迎えた患者さんを目の前にしたときの医療について考えました。医療倫理に基づけば「家族や親しい人のため」に行う医療は存在せず，すべて「患者さん自身のため」でなければなりません。現場の救命士，法曹界や救急医，また患者さんに常に寄り添う看護師，介護職員等地域を守る医療者が議論する機会でもありました。私たち歯科医も超高齢化が進み，在宅医療が増えていく中で，いろいろな状況を想定した上でSympathyを得られる歯科治療を行っていく覚悟が必要ではないかと思われました。

（副委員長 岡崎 景）

第2回エイズ対策研修会

令和元年12月17日(火)19時からピュアリティまきびにおいて第2回エイズ対策研修会が開催され、南常務理事と清水副委員長と野崎副委員長の3名で参加しました。

この研修会は岡山県保健福祉部健康推進課の主催ですが、10年前には過去の病気と言われていた梅毒やHIV感染者の報告が全国的に増加しており、岡山県でも近年、梅毒感染者とHIV感染者が急増しています。梅毒感染者にいたっては2018年には、3位だった第3四半期の人口100万人あたりの報告数が2019年は2位になり、受検体制の強化が必要になってきました。

まず、岡山県保健福祉部健康推進課からHIV感染者エイズ患者発生動向調査として、全国的にも岡山県も増加傾向にあること、HIVに感染段階ではなくエイズを発症してから発覚する「いきなりエイズ」と呼ばれる患者が県内でも後を絶たず、早期発見のために検査を受けるように呼びかけていること、男女比では圧倒的に男性の割合が高く感染経路も同性間での性行為が6割を占めていることが報告されました。また、梅毒の発生動向調査及び対策として、梅毒も全国的にも岡山県も増加傾向にあること、感染経路としては異性間の性的接触が8割で、性的接触の相手としては男性は風俗店が7割、女性はパートナーが6割を占めていることなどが報告され、これを受けて岡山県では令和元年度から3年間梅毒対策に重点的に取り組むことが発表されました。

続いて川崎医科大学附属病院血液内科部長 和田 秀穂教授が「HIV感染症診療の最新情報；U=Uの理解を目指して」と題して講演され、現在の日本において、HIVについては1996年と比べて治療薬も1日の服用錠剤が21から1つになっていることや、平均寿命が約2倍になっていること、梅毒やB型肝炎に罹患している人の中にHIVに感染している人の割合が高いため昨年の1月から感染症法に基づく医師の届出の様式が改正され、「性風俗の従事歴・利用歴の有無」「口腔咽頭病変」「妊娠の有無」「HIV感染症の合併の有無」が記載項目として追加されたことが報告されました。検査法もかなり進歩しており、種々の検査を行うことで、ある程度の感染日まで判定できるとのことでした。そして、現在は抗HIV薬の服用治療によりウイルス量が検出限界未満を維持することができ、コンドームを使用しない性行為でもHIVを他者に感染させる可能性がゼロになっています。これを「U=U (undetectable=untransmittable)」と言いますが、このことに対する理解がまだまだ一般的にも同性間性交渉者にも浸透しておらず、理解を広めて行きたいとのことでした。

最後に、じょう泌尿器科クリニック 院長 常 義政先生が「梅毒について～症例を中心に～」と題して講演され、①医師が梅毒のことを知らない②若い世代において、性に関する認識が大きく変わっている③外国人観光客の増加に伴い、海外から梅毒が流入している④性風俗の形態が変化した⑤梅毒なんて過去の病気だと多くの人が考えてしまっていることなどが、梅毒感染の拡大につながっていると訴えておられました。

(副委員長 清水公雄)



岡山市歯科医師会

「歯ッピーフェア2019」開催報告



令和元年11月17日(日)、毎年恒例となりました岡山市歯科医師会の市民啓発イベント「歯ッピーフェア」を天満屋岡山店6階みどりの広場で開催いたしました。四方を建物で囲まれてはいるものの、11月中旬の屋外開催ということでお天気の心配をしていましたが、昨年同様にそれほど冷え込むことも無く、日が当たると心地よい陽気を感じられる絶好のイベント日和でした。

例年通り岡山県歯科衛生士会、岡山県栄養士会、岡山歯科技工専門学院、岡山県歯科技工士会がご協力くださり、昨年より増えて合計14コーナーを出展しました。また本会の担当するコーナーも今年から一部を新たな内容に変更し、岡山市行政が健康づくりの方針の中核に据えている「フレイル予防」と、今年度より開始された岡山市検診事業の一つである「高齢者歯科口腔健診」の啓発を目的に「オーラルフレイルチェックコーナー」を設けました。

お歳暮販売の特設会場となっていた葦川会館には午前中から多くのお客様が来場されており、歯ッピーフェアはその入り口の前での開催ということもあって、興味を持たれたお客様が足を止めて参加してくださいました。午後には少し来場者がまばらになる時間帯もありましたが、歯科医師会の担当する「かむ力チェック」「パソコンによるお口の診断」「カリエスリスクチェック」などのコーナーには、それぞれ約240名がご参加くださいました。

今年は開催前に、例年通りの山陽新聞紙面、RSKラジオ出演での告知に加えて、OHKのテレビ番組「なんしょん」への出演による告知も行いました。その甲斐あってか、天満屋の1階エントランスで案内のチラシを配っている際には思いのほか多くの方が足を止めて内容を聞いてくださいました。また買い物をついでではなく、毎年のようにお口のチェックに来られる方や、お子様の通われる学校で配布されたチラシを手に歯ッピーフェア目当てで来られるご家族も多く、別の階の催し物会場のスタッフの方からも「お客様から歯ッピーフェアについて質問されるので案内のチラシをください」とお声掛けいただくほどでした。

天満屋岡山店での開催は7回目となりますが、岡山市歯科医師会の啓発イベントとして徐々に認知されてきていること、岡山市民のお口の健康への意識が高まってきていることを実感できた一日となりました。当日の会場には、瀬戸内海放送(KSB)の取材カメラが入り、午後のニュースで歯ッピーフェアの様子が報じられました。

(モニター 杉山真一)

都窪歯科医師会

2019つくほお口の健康8020フェア



令和元年11月3日(日・祝)10時から早島町町民総合会館ゆるびの舎において、「つくほお口の健康8020フェア」が開催されました。

都窪歯科医師会が担当している学区の小学生による図画コンテスト「ぼくの夢わたしの夢」の応募作より選ばれた優秀作品の展示には、ご家族で見学に来られていました。

歯科健康展では、「お口のばい菌検査」、「お口、歯ならび相談」、「カムカム(咬合力)テスト」、「歯

医者さん体験コーナー」、「無料歯科検診」、「絆プロジェクト」、「救急蘇生・AED体験コーナー」、「ゲームコーナー」を都窪歯科医師会会員で担当いたしました。岡山大学病院の「口腔がん検診」、都窪医師会の「医師会健康相談・骨密度測定」、歯科衛生士会の「元気歯つらつコーナー」、三宅医院管理栄養士の「食育コーナー」、岡山県薬剤師会の「肺年齢測定コーナー」、岡山県歯科技工士会の「入れ歯の材料でかざりを作ろう」、グラクソ・スミスクライン(株)の「製品展示」が行われ、来場者が各コーナーを巡っていました。

また、健康イベント「つくつくステージ」では、岡山県歯科衛生士会の「1UP(ワンアップ)すこやかな口」、三宅医院管理栄養士の「歯にいい食べ物のはなし」、都窪歯科医師会の「元気な口づくりのために」が行われ、景品抽選会をおりませながら来場者とのコミュニケーションがはかられました。



医師会健康講座では、「幸せに長生きする生活習慣～歯科医師と医師が連携して、皆さんの健康と若さを保ちます～」と題し、重井医学研究所附属病院院長真鍋康二先生にご講演いただき、日常の健康の秘訣に関する講演に多くの方のご参加をいただきました。

お昼の時間には、岡山県在住のシンガーソングライターがステージで熱唱し、多くの方が立ち止って美しい歌声に聴き入っていました。

フェアは「はやしま生涯学習まつり」の一環として開催され、昨年同様の約400名が参加され、終日盛況な健康フェアとなりました。本フェアに多くの方が来場されたことは、このイベントが地域に根付いてきている結果であると大変喜ばしく感じています。休日返上で頑張っておられた関係者の皆様、お疲れさまでした。この健康フェアが今後も地域の方の健康増進に寄与し、都窪歯科医師会の結束や発展に役立つように頑張りたいと思います。

(モニター 三宅理史)

玉島歯科医師会

第13回 たましま歯と口の健康フェア

令和元年11月10日(日)に「第13回 たましま歯と口の健康フェア」を開催しました。

今年も例年通り「玉島ふるさとふれあい物産展」に合わせ、玉島市民交流センターでの開催となりました。岡山マラソンと重なったため、来場者の減少も懸念されましたが、当日は天気も良く、物産展も賑い、健康フェアの会場にも多くの方が来場されました。今年は初の試みとして薬剤師会と共同でスタンプラリーを行いました。

当日の来場者は、虫歯・歯周病検診で150名、口腔癌検診に50名、口臭測定に39名、家族の絆プロジェクトに6名、輪投げイベントに230名という結果になりました。その他にも、近隣の幼稚園・こども園の園児達が描いた虫歯予防の絵画を見に大勢の方が来場されました。毎年来場して下さる方も増え、盛況のうちに終わることができました。

(モニター 柴田豊文)



赤磐歯科医師会

赤磐市在宅医療・介護推進フェア

令和元年11月17日(日)、赤磐市中央公民館において「第4回赤磐市在宅医療・介護推進フェア」が開催されました。これは赤磐市や赤磐医師会・赤磐歯科医師会などからなる在宅医療・介護連携推進協議会が企画したもので、今回のテーマは「人生会議・ACPを考えよう」で、講師として森クリニック院長 森昌忠先生には「人生会議をしていますか?・アドバンス・ケア・プランニング」、赤磐消防救急救命士 岡本一晃さんには「ACPを考えよう・救急現場で活動する救急隊員の葛藤」のご講演、そして落語家 春風亭昇吉さんには落語「片棒」の上演をしていただきました。

赤磐市でも高齢化が進み、「人生の終盤の過ごし方、どのような治療を受けたいか」を住民の方に考えてもらう契機にとの意図で開催されました。約200名の来場者で、特設コーナーとして設けた訪問診療・訪問看護・訪問介護に関する説明・相談の会場にも多くの方が訪れ、様々な相談に対してスタッフの方々が丁寧に対応なさっていました。

当日は赤磐歯科医師会も在宅診療のブースを設け、在宅歯科診療機材・ポータブルレントゲン照射器を展示し、在宅においても可能な歯科治療、口腔ケアの重要性の説明を行い、また口腔ケア用品を展示し、窓口において歯科相談を受けました。在宅での訪問歯科診療は一般にはまだまだ認知されていないようでしたが、ご家族が病院や施設に入っておられる方などが往診の相談に来られ、在宅でもあきらめない歯科治療を説明しました。

(赤磐歯科医師会会長 角南整司)



玉野市歯科医師会

令和元年度 ブランチプロジェクト報告



令和元年11月24日(日)、玉野市のすこやかセンターにおいて、玉野市健康増進課が主催する「第13回元気が一番!まつり」が開催されました。三宅康正会長以下玉野市歯科医師会会員21名は、岡山県歯科医師会との共催事業「ブランチプロジェクト」としてこの行事に参加し、ブースを設けました。吉川歯科商店様とグラクソ・スミス

クライン(株)の松本 唯様にもご協力を頂きました。

当日は午前10時の開始と同時に多くの地域の方々が来場されました。玉野市歯科医師会のブースでは例年通り「お口と歯の健診・相談」、「フッ素塗布」、「お口の機能測定」、「歯科用品展示」、「家族の絆プロジェクト」、「岡山大学病院口腔外科医による口腔がん健診」のコーナーを設けました。会場の一角には、事前に玉野市内の小学生から募集していた歯科保健図画ポスターを展示し、その内の優秀者と8020達成者には、午後からの表彰式にて賞状と記念品を贈呈しました。

玉野市歯科医師会として地域に密着した歯科保健啓発活動を行うことが出来、大変有意義な機会となりました。

(モニター 中村明博)



吉備歯科医師会

発足30年目を迎える吉備歯科医師会ボウリング愛好会

吉備歯科医師会ボウリング愛好会は、平成2年に角谷久博先生の声掛けにより始まり、以後2か月毎の年6回開催されております。また年末には例会の後に忘年会も行っています。会場は発足当初は岡山市の一宮日商ボウルでしたが、平成12年3月末の廃業により現在は倉敷市のサンフラワーボウルに変更されています。世話役の竹谷裕之先生のお話によると、以前は出欠の確認は往復はがきで行っていましたが、やがて通信機器の発達によりFAXからメールに移っていき、だいぶ手間がかからなくなったとのことでした。また経費を抑えるために角谷先生自ら景品の買い付けなどに奔走していただき、毎回豪華景品付きの楽しい大会となっております。



令和元年12月1日(日)午後4時からサンフラワーボウルで行われた第172回例会に引き続き、場所を稲荷山健康センターに移して午後7時より恒例の忘年会が開催されました。先ずは大浴場の黎明薬湯で体の疲れを癒してリラックス。身体が温まった後に宴会場に移動して愛好会世話人の角谷先生のご発声で乾杯となりました。寒い冬の夜にはしゃぶしゃぶ鍋は最高！締めうどんも美味しくいただきました。お酒も進み、今宵は無礼講！大いに盛り上がりました。ボウリング大会優勝賞品の和牛肉は最終第3ゲームで見事大逆転の竹谷裕之先生がゲット。2位は竹谷雅之先生で、久しぶりに兄弟での表彰台となりました。おめでとうございます！

令和2年はめでたく発足30年目を迎えることとなります。これからも楽しいボウリング愛好会が200回、いや300回を目指して継続していくことを願うばかりです。

・第172回大会結果（3ゲームトータル）

1位：竹谷裕之 579 2位：竹谷雅之 564 3位：秋山俊樹 551

ハイゲーム：竹谷裕之 232

なおサンフラワーボウル内にて令和元年11月16日(土)より巨大鉄道ジオラマ館（Nゲージ）がオープンしています。全長137mで9線の車両がダイナミックに走行する景観を楽しむことができます。興味のある先生方は是非お立ち寄りください。

（モニター 亀山達弘）

吉備歯科医師会

新年会



令和2年1月11日(土)午後7時より総社市窪木の前田料理店にて恒例の新年会が開催されました。来賓として県歯より酒井会長，藤井副会長，黒住副会長，県歯連盟より西田会長，松三副会長，野崎副理事長，そして自民党加藤勝信厚生労働大臣にもお忙しい中をご臨席賜りました。

角谷吉備歯科医師会会長による「皆様，今年もよろしくお祈いします」という新年の挨拶のあと，竹谷雅之先生の発声で乾杯！そのあとはよもやま話に会場は大いに盛り上がりました。新しい元号，令和になってから初めての新年会。お集まりの皆様におかれましては，新たなる気持ちで新年のスタートを切られたのではないのでしょうか。

なお会場を総社市中央のTiaraラウンジに移しての2次会もカラオケなどで大いに盛り上がり，寒い冬のひと時を満喫いたしました。最後になりましたがお忙しい中を新年会にご臨席賜りました来賓の先生方に誌面をお借りして厚く御礼申し上げます。今年も吉備歯科医師会をよろしくお祈いいたします。

(モニター 亀山達弘)



「出不精」

児島歯科医師会 須藤 健太郎

休日は、朝薄暗い時に戸を開ける。徒歩で近くの神社境内まで階段を上がり、そこからの脇道を蜘蛛の巣を払いながら進み、山腹を走る防災用道路にたどり着く。今度はグムの脇から斜面を登る。近所の長老が「からこと富士」と呼んでいたのは麓から見上げた様をみてのこと。文字にすると大層な山だが、4歳くらいの子供も登れる小高い丘である。山頂に岩があり、人が3人ほど横並びに腰を下ろせる。そこから町内が見渡せ、海が光り、その向こうに讃岐富士が見える。そんな景色を眺めながら朝飯を食べる。

山頂でゆっくりして北側路から下山。姿そのままに町内の砂浜に向かう。3枚のスタンドアップパドルボード(SUP)を海に浮かべる。沖防波堤を目指してパドリング。海底には海藻がユラユラ。魚がフラフラ。季節によっては、魚が勢い良く水面から飛び跳ねる。静かな海面をゆっくり散歩する。このSUP(長距離を移動する事も可能であり、波や風の無いフラットな海水面でも楽しめる事から、ハワイでは子供から高齢者まで許容範囲の広いマリンスポーツとして注目されているらしい。不安定なボードの上に乗ってバランスを取るにより全身運動につながり、股、太もも、首、ひざ等が鍛えられるエクササイズ効果がある事も魅力の一つとされているらしい)、風がなく日が照っていれば冬場でも十分に遊べる。誰もいない沖防波堤に腰を下ろし、波の音を聴きながら昼飯を食べる。

海上でゆっくりしてから再びパドリング。海遊びをした後も、服を濡らすことはほとんどない。そのまま日暮れ時になれば、火を熾す。ブロックとレンガを積み重ねただけだが、ピザ窯の役をなす。生地にピザソースを塗り、好きな具材を並べて、チーズをのせて窯の中。結構良い感じで出来上がる。暑い夏でも、寒い冬でも、火を囲みコミュニケーションをする。揺らめく炎と薪がパチパチと音なす空間で、酒はいつも以上に美味くなる。



ご近所さんと一緒なら、ここで徒歩解散。遠方からお越しいただけるなら、マリンロード430を東に向かい、最近話題のジーンズホテルか渋川海岸のリゾートホテルでご宿泊頂きます。

私は出不精ですが、人と遊ぶのは大好きです。よろしければ、遊びに来てください！

次回は 宮地弘治 先生 (倉敷歯科医師会) をご紹介します。

「最近のマイブーム」

岡山市歯科医師会 行正 恵子



最近のマイブームは、心理学〈行動心理学〉を勉強することです。心理学を勉強しようと思った背景は2つあります。1つ目は患者さんと接するにあたり、どうすれば患者さんに寄り添い共感ができるようになるかを常に模索していたこと。2つ目は、より良好な人間関係を建前でなく構築出来たら、どんなに楽だろうと考えていたからです。

社会人の悩みの主たるものは、対人関係の悩みだと思います。相手が不可思議な行動をとった場合、「なぜ?」とか「なんの理由で?」と原因ばかり考えてしまいがちでした。けれども、人間の行動には、理由以上に目的があるということが心理学を学んだことで解りました。

例えば、怒りです。怒りという行動には、相手と目的が必ずあります。相手に自分の気持ちを解って貰いたい、相手を支配したいという目的に、便利な道具として怒りを人は使います。泣くという行動もこの目的で使われることもあります。同じ状況にあっても、相手がとてつもなく異次元の人ならば、怒りを感じることはありません。ですので、怒りをぶつけてくる人がいたら、その目的について考えると、おのずと解決の糸口が見えてまいります。

私事ですが、クリニックを開院して23年目になりますが、最近はほとんど怒りの感情がありません。ストレスフリーに毎日仕事ができるのは、アルフレッド・アドラーの心理学本を、何冊か読んだからです。クリニックに新しいスタッフが入る場合も、アドラー心理学の本を読んで感想文の提出をして貰っています。そのようにしてから、ここ数年、スタッフ同士のいざこざが一切なくなりました。どんな状況にあっても、どんな能力が劣っていても、それだけで人生は決まらないということ。その後の人生をどうするかは、自分で決められる。もうダメだと、諦め嘆き続けるか、あとは這い上がるだけだと奮起するかは、自分で選べるということです。性格は、思考、感情、そして行動の積み重ねによって形成されるため、過去に戻ることはできないので、これからを良くして行けばいいということだと思います。

私事ですが、これからも、よりいっそう精進して参りたいと思います。ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願ひ申し上げます。

6年前に掲載いたしました江戸時代の歯科医が活躍する「口中医桂助」シリーズが完結し、雀部陽一郎先生（浅口歯科医師会）から著者の和田はつ子先生とのインタビュー記事を寄稿いただきましたので要点をふまえて概要を掲載させていただきます。

『さくら坂の未来へ』 和田はつ子著、小学館文庫
《口中医桂助事件帖》シリーズ第16巻、完結！

横浜の居留地で虫歯を治療するという妹の話聞き、桂助は鋼次を伴って同行。そこでエーテル麻酔を使い、歯を抜かず痛みなく治療する最新治療を目の当たりにする。その宿泊先では、宿主のキングドンが殺害され、彼が阿片の密売をしていることが判明する…。



『わらしべ悪党』 和田はつ子著、幻冬舎文庫

急成長した健康食品会社の社長が事故死した。遺言書が無いため、自由奔放な妻・武光まり子は10億の遺産を独り占めしようとする。しかし、財産を食い潰す息子、会社の金で新規事業を始めようとする医師の義弟、そして突然現れた非嫡出子らの登場で遺産相続争いは泥沼に…。

[雀部] 前回インタビューをさせていただいたのが2013年ですから、もう6年前なんですね。2010年の「和田はつ子先生著作100冊突破を祝う会」には大勢の歯科関係者が招待されたとか。

[和田] 歯科医の先生方が大勢というのは少しオーバーですが、100冊突破の会もやはり、桂助シリーズがメインで、江戸時代の歯医者さんが主人公というのは、前人未踏ただけに輝いており、このシリーズがなければ開かれはしなかったはずですよ。

[雀部] 《口中医桂助事件帖》シリーズはどのようにして生み出されたのでしょうか？

[和田] 主人公、桂助は十二代将軍の落とし胤としました。出生の秘密を知っているのは桂助の養父母と将軍側用人だけのはずだったのですが、巻が進むにつれ、或ることから悪党に知られてしまい、利用されそうになります。彼をとりまく人物たちと共に、降りかかる難事件を解決に導く事件帖の体裁にしました。

[雀部] 桂助がもう読めないとなると寂しいですね。

[和田] それがですね、ありがたいことに、惜しむ声が多数寄せられたのです。そこで、出版社と相談の結果、続編を刊行する運びとなりました。『わらしべ悪党』を書いたことで、わたしの中で何かが変わりかけているような気もしていますので、さらに上質な《口中医桂助事件帖》を年内にはお届けできると思います。

[雀部] なんとそれは楽しみです。そのバブル期が舞台の『わらしべ悪党』では、“飽和状態の歯科医院が、このところ眼科医院を羨んでいる”という話が出てきて、ドキッとしましたのは内緒です（笑）

[和田] 歯科医院の経営者が息子の嫁に綺麗でスタイル抜群のキャビンアテンダントではなく、眼科女医を熱望していた話は実話です。今だと歯科医も含めて、休日夜間営業がトレンドなようですが、これもいずれ頭打ちになるのではないのでしょうか？

[雀部] 《口中医桂助事件帖》シリーズ最終巻のインタビューで、続編のお話しをうかがえる展開になるとは嬉しい驚きでした。歯科関係の主人公が、これだけ長く人気を維持し活躍するシリーズは空前絶後だったのではないかと思います。「桂助」の今後の活躍と、和田先生のさらなる新作を期待しております。



お知らせ

日曜・祝日の開館予定日

○ 開館予定 × 閉館予定

2月	2日(日)	9日(日)	11日(火・祝)	16日(日)	23日(日・祝)	24日(月・振)
	×	×	×	×	×	×
3月	1日(日)	8日(日)	15日(日)	20日(金・祝)	22日(日)	29日(日)
	×	×	×	×	×	×

※行事等の都合により変更となる場合もあります。 ※詳細については事務局にお問合せ下さい。

岡山大学公開講座 摂食・嚥下リハビリテーション従事者研修会 初級コース（第16回） 開催のお知らせ

近年、急速な高齢化や社会ニーズの変化に伴い、摂食嚥下リハビリテーションへの関心が大きな高まりを見せていることを背景に、令和2年度も標記研修会を開催する運びとなりました。奮ってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

記

- *主催 : 岡山大学 (一社)岡山県歯科医師会 岡山市内歯科医師会連合会
(一社)岡山県歯科衛生士会
- *実施会場 : 岡山大学病院 臨床講義棟 第一講義室 (第3・4・5・7・8・9回)
岡山大学Junko Fukutake Hall (岡山大学鹿田キャンパス内) (第1・2・6回)
- *日程 : 令和2年4月15日～7月8日 19時30分～21時 (初回・3回目のみ19時～21時)
- *講義内容及び日程
- | | | |
|-----------------|------------------------|--------------------------|
| ①4/15 (19:00開始) | 摂食嚥下障害のリハビリテーションと多職種連携 | 杉山 岳史 先生 (川崎医科大学) |
| | 摂食嚥下に必要な健康な噛み合わせ、健康な咀嚼 | 皆木 省吾 先生 (岡山大学病院) |
| ②4/22 | 脳血管疾患、神経・筋疾患と摂食嚥下障害 | 出口健太郎 先生 (岡山市立市民病院) |
| ③5/13 (19:00開始) | 摂食嚥下リハビリテーションの取り組み | 山本 道代 先生 (あいの里クリニック) |
| | 摂食嚥下障害と評価 | 山本 昌直 先生 (岡山大学病院) |
| ④5/20 | 摂食嚥下リハビリテーションの実際 | 古西 隆之 先生 (岡山大学病院) |
| ⑤6/3 | リスク管理・胃瘻考え方 | 田辺 俊介 先生 (岡山大学病院) |
| ⑥6/10 | 食環境・ポジショニング | 舟木美砂子 先生 (アイ・ソネックス (株)) |
| ⑦6/17 | 栄養の考え方 | 森光 大 先生 (川崎医科大学総合医療センター) |
| ⑧6/24 | 口腔機能管理 ー口腔のケアとはー | 藤原 千尋 先生 (福山医療センター) |
| ⑨7/8 | 訪問歯科における摂食・嚥下リハの実際 | 村内 光一 先生 (尼崎開業) |
- (非常勤講師 「兵庫県歯科医師会附属兵庫歯科衛生士学院」)

*受講費

- ・県歯会員：無 料 (過去に受講歴がある場合は5,000円の受講費が必要です)
- ・県歯会員の医院勤務のスタッフ：3,000円
- ・その他：5,000円

受講費は初回受付にて徴収します

*お申し込み：スペシャルニーズ歯科センター HPより申込フォームをダウンロードしお送りください。

*お申し込み期間： 2月13日～3月29日

お問い合わせ先：岡山大学病院 スペシャルニーズ歯科センター 担当：山本・河本

Tel & Fax：086-235-6823 (医局)

E-mail：p2th4tvm@okayama-u.ac.jp (河本)

申請フォーム、会場地図は、スペシャルニーズ歯科センターホームページ

<http://www.okayama-u.ac.jp/user/special/> をご覧ください。



訃

報



故 妹尾 弘暉 先生

享年87才（令和2年1月1日 ご逝去）

瀬戸内市牛窓町牛窓4507-3

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます

会 員 異 動

12月末日現在 正会員数1,023名

◎電話番号の変更

樋口 讓 正会員 岡山市 P19

[新] (診) TEL (086) 238-8885

◎死亡

妹尾 弘暉 正会員 瀬戸内市 P44

(P = 会員名簿のページ)

2月の収納金

1. 本 会

(1) 診療報酬割会費（社保、国保11月診療の窓口分を含む総診療費の $\frac{2.8}{1000}$ を控除）

2. 全国歯科医師国保組合

(1) 収入割、均等割保険料調定額

(2) 収入割保険料（平成30年支払いの窓口分を含む総診療費の $\frac{6.5}{1000} \times \frac{1}{12}$ ）

3. 日本歯科医師会

(1) 年金保険料（3月分）

(2) 福祉共済保険料（3月分）

12月 会の動き

- | | | | | |
|-----|---|-------------------|--|---|
| 2日 | オンライン資格確認システム説明会（広島）
蜂谷工業と打合せ
学術部正・副委員長会
編集委員会（集稿） | 15日 | 日本歯科医師会生涯研修セミナー（中国地
区 於広島） | |
| 4日 | 国民医療を守るための総決起大会
岡山市歯科医師会忘年会 | 16日 | 令和元年度岡山県在宅医療推進協議会
蜂谷工業と打合せ | |
| 5日 | 理事会 | 17日 | 令和元年度第2回エイズ対策研修会
令和元年度第2回スポーツ医・科学委員会
社会保険部研修会 | |
| 6日 | 新会館打合せ | 学院 一般入試A日程合否判定委員会 | 18日 | 編集委員会（二校） |
| 7日 | 大阪歯科大学岡山県同窓会社保講習会・総
会・懇親会 | 19日 | 新会館打合せ
理事会 | |
| 9日 | 支払基金幹事会
2019年度岡山大学歯学部教授会忘年会 | 20日 | 厚生労働省指導監査室長と面談
蜂谷工業忘年会
編集委員会（終校） | |
| 10日 | 公衆衛生部正・副委員長会 | 学院 一般入試A日程合否発表 | 21日 | 社保 審査・検討小委員会
社会保険部検討委員会
社会保険部検討委員会忘年会
都窪歯科医師会忘年会 |
| 11日 | 編集委員会（初校）
渉外部小委員会 | 22日 | I P U ・環太平洋大学 3Dカメラによる
測定 | |
| 12日 | 岡山産業保健総合支援センター運営協議会
I P U ・環太平洋大学ラグビー部 マウス
ガード
岡山県歯科衛生士会・衛生士連盟と面会
山陽印刷と打合せ
理事会
常務理事会 | 23日 | 中国地方社会保険医療協議会岡山部会
学術部正・副委員長会 | |
| 14日 | 岡山県歯科保健優良校等表彰式
新会館視察（地区会長）
地区・本会連絡協議会
本会・関連団体役員合同懇談会
日本歯科医師会2019年度災害歯科保健医療
体制研修会（～15日）
学院 一般入試A日程 | 26日 | 新会館視察
県健康推進課と面会
フッ化物リーフレット打合せ（公衆衛生部）
理事会
学院 岡山地区歯科衛生士養成機関選任教
員連絡協議会 | |

2月・3月 本会の予定

- | | |
|---|---|
| <p>2月 1日 新年移動編集委員会
令和元年度歯科医師認知症対応力向上
研修会</p> <p>3日 編集委員会（集稿）</p> <p>6日 令和元年度岡山県8020推進事業評価会
議
理事会
編集委員会（初校）</p> <p>8日 高梁歯科医師会役員懇談会</p> <p>10日 令和元年度第2回岡山県自立支援協議
会医療的ケア児童支援部会</p> <p>12日 岡山県国民健康保険団体連合会理事会
医療管理部小委員会</p> <p>13日 理事会
編集委員会（二校）</p> <p>14日 令和元年度第2回岡山県医療対策協議
会新たな財政支援制度検討部会</p> <p>15日 口腔がん研修会出張講座（倉敷）</p> <p>16日 令和元年度歯科医療安全研修会</p> <p>18日 第18回岡山医療訴訟連絡協議会</p> <p>19日 日本学校歯科医会加盟団体長（日歯）
医療管理正・副委員長会</p> <p>20日 理事会
編集委員会（終校）</p> <p>22日 監事会
予算決算特別委員会</p> | <p>23日 令和元年度第2回岡山地域医療構想・
包括ケアシステム研究会</p> <p>27日 新会館引き渡し
令和元年度第30回中規模県歯科医師会
連合会</p> <p>28日 第129回都道府県会長会議（日歯）</p> <p>29日 アスリート・サポート委員会</p> <p>3月 2日 引越し（～4日）</p> <p>5日 理事会
編集委員会（集稿）</p> <p>8日 おかやまスポーツフェスティバル</p> <p>11日 医療管理部小委員会</p> <p>12日 日本歯科医師会第192回臨時代議員会
（～13日）
編集委員会（初校）</p> <p>18日 医療管理部正・副委員長会</p> <p>19日 理事会
編集委員会（二校）</p> <p>22日 第185回臨時代議員会
新会館内覧会（代議員）</p> <p>25日 日本学校歯科医会第99回臨時総会
（日歯）</p> <p>26日 理事会
編集委員会（終校）</p> <p>29日 新会館内覧会（会員）</p> |
|---|---|

2月・3月 地区歯科医師会の予定

2月1日	玉野市	玉野市三師会発会式	28日	岡山市	理事会
4日	新見	理事会		児島	児島三師会
6日	岡山市	三役会			
7日	児島	理事会	3月4日	吉備	定時理事会
	都窪	定例会	5日	岡山市	三役会
8日	高梁	県歯科医師会執行部との連絡 会	6日	児島	理事会
12日	玉野市	理事会	10日	児島	総会
	瀬戸内市	例会		新見	理事会
14日	岡山市	理事会	11日	岡山市	幹事会
16日	浅口	里庄町健康祭り協賛ブラン チ・プロジェクト（里庄町 健康福祉センター）		玉野市	理事会
17日	岡山市	班長会		瀬戸内市	例会
	倉敷	三役会		和気	改定前社保講習会
20日	勝英	定例会	13日	岡山市	理事会
21日	倉敷	理事会	14日	児島	学術研修会
22日	和気	往診サポート普及センター会 議，理事会	23日	倉敷	三役会
27日	倉敷	総会	24日	岡山市	理事会
			25日	岡山市	臨時代議員会
				玉野市	社保講習会
				吉備	臨時総会，社保講習会
			27日	倉敷	理事会

* はこちら編集室 *

谷本 「ひとり言」

哲也 2020年、PayPayを始めた。多少の不安もあったが、実際に使ってみると、チャリーン！（ペイペイ）という決済音にドキドキし、ずっと欲しかった物を手に入れたようなワクワク感に心躍る。なんて便利なんだ。

毎年、年明けは体重が気になる。健康診断があるからだ。去年は食生活を見直し3キロ減。しかし、健診のお医者さんは、3キロ減った私の体には全く興味がなさそうだった。なんなんだ。今年はテレビで話題の「やせ筋トレ」を実行中。結果はどうだろう。

ゴーンが逃げた。トズラされた。なーにやってんだ。こんなん東京オリンピック大丈夫か？！

歯科医療に夢と未来を… iPadと電子カルテの融合

視診・歯周検査システム
i-DS 検査



治療提案・見積
i-DS自費プランナー
i-DSビジュアルPro



iPadでカルテ入力
5台 同時利用
バーチャルカルテ



問診システム
i-DS 問診



歯科統合電子カルテシステム
HiDental Spirit®
XR-10i

訪問診療先から
iPadでカルテ入力



着信顧客情報
CTIシステム



予約確認メール
お知らせくん



予約管理システム
**iPad予約
ネット予約**



Face to Face 緻密なサポート

23
拠点

東京・横浜
大阪～沖縄まで

サポートなくして販売なし

沖縄



先生笑顔と満足
私たちの喜び・・・

**開設
新横浜**

※iPadはApple Inc.の商標です。※当社製品は医療機器に該当しません。※HiRDBは(株)日立製作所の登録商標です。

日立特約店

THS
TOWA HI SYSTEM CO., LTD.

東和ハイシステム株式会社

東和ハイ

検索

本社 / 〒700-0971 岡山市北区野田3丁目12-33 TEL.086-243-3003 FAX.086-243-6838 [E-mail] ths-info@towa-hi-sys.co.jp [URL] https://www.towa-hi-sys.co.jp



SOMPO
ホールディングス

保険の先へ、挑む。

損保ジャパン日本興亜



JAPAN HOCKEY TEAM

サムライ JAPAN さくら JAPAN

損保ジャパン日本興亜
公式ウェブサイト
ホッケー日本代表応援ページ



損害保険ジャパン日本興亜株式会社

岡山支店 法人支社
〒700-0913 岡山県岡山市北区大供 1-2-10
Tel:086-225-1045 <https://www.sjnk.co.jp/>

株式会社 **マルミ 歯科商店**

高知本社	〒780-0833 高知市南はりまや町2-16-3	TEL:088-883-2201 FAX:088-883-4711
徳島支店	〒770-0846 徳島市南内町1-43	TEL:088-622-0816 FAX:088-623-5304
岡山支店	〒700-0808 岡山市北区大和町2-3-48	TEL:086-225-4378 FAX:086-222-0383
大阪支店	〒564-0051 吹田市豊津町15-27	TEL:06-6380-3831 FAX:06-6380-3775
香川営業所	〒760-0078 高松市今里町1-22-9	TEL:087-842-1839 FAX:087-842-1838
大阪南営業所	〒594-0023 和泉市伯太町2-2-3	TEL:0725-58-7254 FAX:0725-58-7255



SINCE 1943



信頼の輪を共に創造する

2020 DENTAL FAIR

1^{LF}th

おかげさまで創業100周年
1920-2020

第48回 2020 リンケージ藤波 創業100周年記念デンタルフェア

～大正から令和まで100年企業のお役立ち～

特賞 **お楽しみ大抽選会もあります**
 その他 豪華景品多数・空くじなし
 100周年の感謝をこめて
北海道旅行ペアでご招待

**無料ドリンク
コーナーあり!**
 ●ジュース
●コーヒー

ご挨拶

謹啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は、大正9年創業以来お蔭様で本年創業100周年を迎えることになりました。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と深く感謝致しております。

そこでこの度「大正から令和まで100年企業のお役立ち」をテーマに、「(株)リンケージ藤波創業100周年記念デンタルフェア」を開催致します。

多数のメーカー協賛を得、最新の歯科器械・材料等国内外の優良製品並びに当日限りのお買い得品を多数展示すると共に、テーブルクリニックやデンタルフェア特別講演を企画しております。また永年の感謝の意を込めて、「北海道旅行ペアでご招待」を特賞に、その他豪華商品が当たる「お楽しみ大抽選会」やリンケージブースではリンケージ藤波100周年の歩み紹介等、盛りだくさんの内容でございます。

ご多用中のこととは存じますが万障お繰り合わせの上ご来場賜りますようお願い申し上げます。

敬白

とき 2020年

2月29日(土) ▶ 3月1日(日)

(15:00～20:00)

(9:00～16:00)

ところ コンベックス岡山 (小展示場)

岡山市北区大内田675番地 TEL(086)292-6111

主催／(株)リンケージ藤波



【交通】 瀬戸中央道早島ICより車で約5分
JR山陽本線中庄駅よりバス約10分
JR岡山駅よりバス約30分

協賛メーカー

- (株)JBA
- (株)NING
- (株)アイディエス
- (株)アイデンス
- アグサジャパン(株)
- アサヒブリテック(株)
- 朝日レントゲン工業(株)
- アメリカン・エクスプレスインターナショナルinc
- 石福金属興業(株)
- (株)イーネットワークシステムズ
- イボクラービパデント(株)
- (株)オーラルプラス
- (株)大平製作所
- (株)岡部

- (株)岡山情報処理センター
- 岡山中央人事サポートセンター
- (株)オフィスウエーブ
- 合同会社 オプティ
- クロスフィールド(株)
- 佐藤歯材(株)
- サンエス石膏(株)
- サンシステム(株)
- サンデンタル(株)
- サンメディカル(株)
- (株)ジーシー
- 芝田薬品(株)
- (株)松風
- 昭和薬品化工(株)
- スリーエムジャパン(株)
- 大榮歯科産業(株)

- タカラベルモント(株)
- デンツプライシロナ(株)
- (株)東京技研
- (株)トクヤマデンタル
- 内外歯材(株)
- (株)ナカニシ
- (株)ニッシン
- 日本アイ・エス・ケイ(株)
- (株)日本歯科商社
- 日本歯科新聞社
- 日本歯科薬品(株)
- (株)日本トリム
- ネオ製薬工業(株)
- ネットクリエイツ(株)
- 白水貿易(株)
- (株)ビーエスエーサクライ

- (株)ビーブランド・メディコーデンタル
- (株)古澤工芸
- (株)ブローデント
- 睦化学工業(株)
- メディア(株)
- (株)メディカルプログレス
- (株)モモセ歯科商会
- (株)モリタ
- 山八歯材工業(株)
- YAMAKIN (株)
- (株)ヨシダ
- 米本合同税理士法人
- ライオン歯科材(株)

50音順

令和2年2月1日発行(毎月一回1日発行)
昭和42年4月3日 第三種郵便物認可

岡歯会報

2月号

通巻第八七号

定価一〇〇円

編集人 黒瀬 哲也

発行人 酒井 昭則

発行所

岡山市北区石関町一丁目五番(購読料は年会費に含まれる)

